



機能、テンプレート、サービス、およびユーザ

Cisco Unified IP Phone をネットワークに設置し、ネットワークの設定値を設定して、IP Phone を Cisco Unified Communications Manager に追加した後は、Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションを使用して、テレフォニー機能を設定する必要があります。必要に応じて、電話テンプレートの修正、サービスのセットアップ、ユーザの割り当ても行います。

この章では、これらの設定およびセットアップについて、手順の概要を示します。これらの手順の詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。

Cisco Unified Communications Manager 上のすべての電話機または特定の電話機モデルでサポートされるすべての機能を一覧するには、Cisco Unified レポート ツールで、Unified CM Phone Feature List レポートを生成してください。

機能に関する情報をユーザに提供する方法、および提供する内容に関する推奨事項については、[社内サポート Web サイト](#)を参照してください。

英語以外の環境での電話機のセットアップについては、[社内ユーザ サポート](#)を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [使用可能なテレフォニー機能, 1 ページ](#)
- [Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加, 9 ページ](#)
- [\[ユーザ オプション \(User Options\) \] Web ページ, 10 ページ](#)

使用可能なテレフォニー機能

Cisco Unified IP Phone を Cisco Unified Communications Manager に追加した後、電話機に機能を追加できます。次の表に、サポートされているテレフォニー機能を示します。これらの多くは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して設定できます。この表の「参照先」欄は、設定の手順と関連情報が記載された Cisco Unified Communications Manager やその他のマニュアルを示しています。

電話機のこれらほとんどの機能の使用の詳細については、『*Cisco Unified SIP Phone 3905 User Guide for Cisco Unified Communications Manager*』を参照してください。



(注) Cisco Unified Communications Manager の管理ページには、各種のテレフォニー機能を設定するためのサービスパラメータもいくつかあります。サービスパラメータへのアクセスと設定方法については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』を参照してください。

サービスの機能の詳細については、[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウでパラメータ名を選択するか、ヘルプ ボタン (?) を選択します。

表 1: *Cisco Unified IP Phone* のテレフォニー機能

機能	説明	設定の参照先
オーディオメッセージ受信インジケータ (AMWI)	ハンドセットまたはスピーカフォンから聞こえるスタッター音により、ユーザが回線で新しいボイスメッセージを1つ以上受信したことが示されます。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i> 』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。
自動応答	呼出音を1～2回鳴らした後に、着信コールを自動的に接続します。 自動応答は、スピーカフォンと連動します。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</i> 』の「Directory Number Configuration」の章を参照してください。
外線から外線への転送のブロック	外線コールをユーザが別の外線コールに転送することを禁止します。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide</i> 』の「External Call Transfer Restrictions」の章を参照してください。

機能	説明	設定の参照先
コール転送	<p>ユーザが着信コールを別の番号にリダイレクトできるようにします。[すべてのコールの転送 (Call Forward All)]オプションがサポートされます。</p> <p>電話機にすべてのコールの転送 (Call Forward All) 機能が設定されている場合、オフフック後にスタッター音が聞こえます。</p>	<p>詳細については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Directory Number Configuration」の章。 『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Cisco Unified IP Phone」の章。 [ユーザ オプション (User Options)] Web ページ表示のカスタマイズ, (12 ページ)
不在転送ループのブレイクアウト	<p>不在転送ループを検出して防止します。不在転送ループが検出されると、[すべてのコールの転送 (Call Forward All)]の設定が無視されて呼出音が鳴ります。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>
不在転送ループの防止	<p>ユーザが、[すべてのコールの転送 (Call Forward All)]の接続先を電話機で直接設定する際に、不在転送ループが生じたり、既存の Forward Maximum Hop Count サービス パラメータに定められたホップ数の上限を超える不在転送チェーンが生じたりしないように防止します。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>
不在転送の接続先の無効化	<p>管理者は、すべてのコールの転送 (CFA) の接続先が CFA の転送元にコールを発信する場合には CFA を無効にすることができます。この機能により、CFA の接続先は、重要なコールがある場合に CFA の転送元に到達できるようになります。この無効化は、CFA の接続先の電話番号が内部か外部かに関係なく動作します。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Understanding Directory Numbers」の章を参照してください。</p>

機能	説明	設定の参照先
コール ピックアップ	<p>ユーザが、同僚の電話機にかかっているコールを自分の電話機にリダイレクトして、応答できるようにします。</p> <p>電話機のプライマリ回線に、音声によるアラートを設定できます。このアラートによって、ピックアップグループ内でコールの呼び出しがあることが通知されます。</p>	<p>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide</i>』の「Call Pickup」の章を参照してください。</p>
コール待機	<p>コールの最中に別の着信コールの呼出音が鳴っていることを通知し、ユーザが応答できるようにします。</p> <p>電話機はコール待機音（1回のビープ音）を発し、電話スクリーンに2番目の着信コールが表示されます。</p>	<p>詳細については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『<i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i>』の「Understanding Directory Numbers」の章。
C 割り込み	<p>ユーザは、共有電話回線でプライベートコール以外のコールに参加できます。C 割り込みによってユーザがコールに追加され、会議に変換されるので、ユーザやその他の関係者は会議機能にアクセスできるようになります。</p>	<p>詳細については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『<i>Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide</i>』の「Barge and Privacy」の章。

機能	説明	設定の参照先
会議	<ul style="list-style-type: none"> ユーザは、各参加者を個別に呼び出して、複数の通話相手と同時に話すことができます。 標準（アドホック）会議では、開催者以外でも参加者を追加できます。また、どの会議参加者でも同じ回線上の2つの標準会議を結合できます。 	<p>これらの機能を有効にするには、Advance Adhoc Conference サービスパラメータ（[Cisco Unified CM の管理（Cisco Unified Communications Manager Administration）]ではデフォルトで無効になっています）を使用します。</p> <p>会議の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Conference Bridges」の章を参照してください。</p> <p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p> <p>（注） ユーザに対し、これらの機能がアクティブであるかどうかを必ず通知してください。</p>
強制承認コード（FAC）	特定のユーザが発信できるコールのタイプを制御します。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide』の「Client Matter Codes」および「Forced Authorization Codes」の章を参照してください。
グループのコールピックアップ	ユーザが、別のグループの電話番号で呼び出し音が鳴っているコールに応答することができます。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide』の「Call Pickup」の章を参照してください。
保留/復帰	ユーザは、保留/復帰ボタンを使用して、接続されたコールをアクティブな状態から保留状態に移行できます。ユーザは、保留/復帰ボタンまたはスピーカボタンを押すか、オフフックにすることで、保留中のコールを再開します。	設定は必要ありません。ただし、保留音を使用する場合には必要です。詳細は、この表の「保留音」を参照してください。

機能	説明	設定の参照先
フックフラッシュタイマー	フックフラッシュがタイムアウト（またはコールの切断）を示すまでの時間の長さを制御します。	詳細については、以下を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> 『<i>Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</i>』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」の章。
メッセージ受信（Message Waiting）	メッセージ受信オンインジケータおよびオフインジケータ用の電話番号を定義します。直接接続型のボイスメッセージシステムでは、指定された電話番号を使用して、特定の Cisco Unified IP Phone のメッセージ受信インジケータを設定したりクリアしたりします。	詳細については、次の箇所を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> 『<i>Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</i>』の「Message Waiting Configuration」の章。 『<i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i>』の「Voice Mail Connectivity to Cisco Unified Communications Manager」の章。
Message Waiting Indicator（メッセージ受信インジケータ）	電話機のランプの1つで、ユーザに1つまたは複数の新着ボイスメッセージが届いていることを示します。	詳細については、以下を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> 『<i>Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</i>』の「Message Waiting Configuration」の章。 『<i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i>』の「Voice Mail Connectivity to Cisco Unified Communications Manager」の章。
Music On Hold（保留音）	発信者が保留状態になっている間、音楽を再生します。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide</i> 』の「Music On Hold」の章を参照してください。
ミュート	ハンドセットやスピーカフォンからのマイク音声をミュートにします。	設定は必要ありません。

機能	説明	設定の参照先
オンフック コール転送	ユーザは、転送ボタンを押してからオンフックにすることで、コール転送を実行できます。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i> 』の「Cisco Unified IP Phones」の章を参照してください。
プラス ダイアル	ユーザは、先頭に「+」記号を付けて E.164 番号をダイヤルできます。 + 記号をダイヤルするには、「*」キーを1秒以上押し続ける必要があります。これは、オンフックとオフフックの両方のコールで、先頭桁をダイヤルするときに当てはまります。	設定は必要ありません。
Private Line Automated Ringdown (PLAR)	Cisco Unified Communications Manager の管理者は、ハンドセットをオフフックにすると Cisco Unified IP Phone によってただちにダイヤルされる電話番号を設定できます。この機能は、緊急連絡や「ホットライン」の番号にコールするための電話機に役立ちます。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</i> 』の「Directory Number Configuration」の章を参照してください。
リダイヤル	ユーザは、リダイヤルボタンを押して、最後にダイヤルした電話番号に発信できます。	設定は必要ありません。
シェアドライン	ユーザは、複数の電話機で同じ電話番号を共有したり、電話番号を同僚と共有したりできます。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i> 』の「Understanding Directory Numbers」の章を参照してください。

機能	説明	設定の参照先
Telnet	Telnet を使用して Cisco Unified IP Phone に接続することにより、トラブルシューティングと電話機のメンテナンスを行うことができます。	<p>詳細については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」の章。 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「SIP Profile Configuration Settings」の章。
Time-of-Day ルーティング	指定したテレフォニー機能へのアクセスを時間帯によって制限します。	<p>詳細については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Time Period Configuration」の章。 『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Time-of-Day Routing」の章。
タイム ゾーンのアップデート	タイム ゾーンの変更に伴い、Cisco Unified IP Phone を更新します。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Time Group Configuration」の章を参照してください。
転送	ユーザは、接続されているコールを自分の電話機から別の番号にリダイレクトできます。	

機能	説明	設定の参照先
ボイス メッセージ システム	コールに応答がない場合に、発信者がメッセージを残せるようにします。	<p>詳細については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Cisco Voice-Mail Port Configuration」の章。 『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Voice Mail Connectivity to Cisco Unified Communications Manager」の章。

Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加

ユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加すると、ユーザに関する情報を表示および管理できるようになります。またユーザは、次のタスクを実行できるようになります。

- パーソナルディレクトリを作成する。
- コール転送番号を設定する。

ユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ユーザを 1 名ずつ追加するには、[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「End User Configuration」の章を参照してください。
- ユーザを一括して追加するには、一括管理ツールを使用します。この方法では、すべてのユーザに対して同一のデフォルトパスワードを設定することもできます。
詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Bulk Administration」の章を参照してください。
- 社内LDAPディレクトリからユーザを追加するには、[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で [システム (System)] > [LDAP (LDAP)] > [LDAP システム (LDAP System)] を追加します。



- (注) [LDAP サーバからの同期を有効にする (Enable Synchronization from the LDAP Server)]を有効にした後は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページから別のユーザを追加できなくなります。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Understanding the Directory」の章を参照してください。

- ユーザと電話機を同時に追加するには、Cisco Unified Communications Manager で [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] を選択します。

[ユーザオプション (User Options)] Web ページ

ユーザオプション Web ページでは、電話機のいくつかの機能や設定値をユーザがカスタマイズおよび制御できます。[ユーザオプション (User Options)] Web ページの詳細については、『Cisco Unified SIP Phone 3905 User Guide for Cisco Unified Communications Manager』を参照してください。

[ユーザオプション (User Options)] Web ページへのアクセスのセットアップ

ユーザがユーザオプション Web ページにアクセスできるようにするには、管理者がユーザを標準 Cisco Unified Communications Manager エンドユーザグループに追加し、適切な電話機をユーザに関連付けておく必要があります。

エンドユーザには、必ずユーザオプション Web ページに関する次の情報を提供してください。

- アプリケーションにアクセスするために必要な URL。この URL は、次のとおりです。
http://<server_name:portnumber>/ccmuser/ (server_name は、Cisco Unified Communications Manager のホスト名)。
- アプリケーションにアクセスするために必要なユーザ ID とデフォルトパスワード。
これらの設定値は、ユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加したときに入力した値と同じです ([Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加](#), (9 ページ) を参照)。

詳細については、次の各項を参照してください。

- 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「User Group Configuration」
- 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「End User Configuration」

次の手順を使用してアクセスできます。

エンドユーザグループへのユーザの追加

ユーザを Cisco Unified Communications Manager 標準エンドユーザグループに追加するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザグループ (User Groups)] を選択します。
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 3** [標準 CCM エンドユーザ (Standard CCM End Users)] リンクを選択します。対象の標準 CCM エンドユーザについての [ユーザグループの設定 (User Group Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [グループにエンドユーザを追加 (Add End Users to Group)] を選択します。[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** [ユーザの検索 (Find User)] ドロップダウンリストボックスを使用して、追加するユーザを探し、[検索 (Find)] をクリックします。
検索条件に一致するユーザのリストが表示されます。
- ステップ 6** 表示されるレコードのリストで、このユーザグループに追加するユーザのチェックボックスをクリックします。リストが長い場合、下部のリンクをクリックすると、さらに詳細を表示できます。
(注) 検索結果のリストには、すでにそのユーザグループに属しているユーザは表示されません。
- ステップ 7** [選択項目の追加 (Add Selected)] を選択します。
-

電話機をユーザに割り当てる

Cisco Unified Communications Manager の [エンドユーザ (End User)] 画面で電話機をユーザに割り当てます。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 2** 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 3** 表示されるレコードのリストで、ユーザのリンクを選択します。
- ステップ 4** [デバイスの割り当て (Device Association)] を選択します。
[ユーザデバイス割り当て (User Device Association)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 6** デバイスの左にあるボックスをオンにして、エンドユーザに割り当てるデバイスを選択します。
- ステップ 7** [選択/変更の保存 (Save Selected/Changes)] を選択して、デバイスをユーザに割り当てます。
- ステップ 8** ウィンドウの右上にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストから、[ユーザの設定に戻る (Back to User)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示され、選択し、割り当てたデバイスが、[制御するデバイス (Controlled Devices)] ペインに表示されます。
- ステップ 9** [選択/変更の保存 (Save Selected/Changes)] を選択します。

[ユーザオプション (User Options)] Web ページ表示のカスタマイズ

デフォルトでは、ユーザオプション Web ページのほとんどのオプションが表示されます。ただし、次のオプションは、システム管理者が [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で [エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] の設定値を使用して設定する必要があります。

- 呼出音設定の表示 (Show Ring Settings)
- コール転送の表示 (Show Call Forwarding)
- メッセージ受信ランプの表示 (Show Message Waiting Lamp)
- オーディオメッセージ受信インジケータの表示 (Show Audible Message Waiting Indicator)



(注) この設定値は、サイトのすべてのユーザオプション Web ページに適用されます。

[ユーザオプション (User Options)] Web ページに表示されるオプションを指定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] を選択します。
[エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [CCMUser パラメータ (CCMUser Parameters)] 領域で、各パラメータ値のドロップダウン リストから次のいずれかの値を選択し、パラメータをユーザオプション Web ページに表示するかどうかを指定します。

- [はい (True)] : オプションを [ユーザオプション (User Options)] Web ページに表示します ([呼出音設定の表示 (Show Ring Settings)] および [コール転送の表示 (Show Call Forwarding)] 以外はこれがデフォルト) 。
- [いいえ (False)] : オプションを [ユーザオプション (User Options)] Web ページに表示しません。
- [すべての設定を表示 (Show All Settings)] : すべてのコール転送設定を [ユーザオプション (User Options)] Web ページに表示します (デフォルト) 。
- [すべての設定を非表示 (Hide All Settings)] : コール転送設定を [ユーザオプション (User Options)] Web ページに表示しません。
- [すべてのコールの転送のみ表示 (Show Only Call Forward All)] : すべてのコールの転送のコールのみ [ユーザオプション (User Options)] Web ページに表示します。

ステップ 3 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 4 [設定の適用 (Apply Config)] をクリックします。
